

**今年も国公立大86名現役合格  
去年は東大はじめ六大学全てに合格**

**特集  
母校大躍進  
その実像に迫る**

**群馬県立館林高等学校  
同窓会会報**



私たちの母校館林高校は、いま大躍進中である。特に進学実績はここ数年右肩上がりであり急伸しており、生徒の学力伸長では県下随一の高校である。今年の国公立大現役合格者86名は県下男子校第四位。また去年は、東大をはじめ東京六大学の全てに現役合格者をだした。この大躍進の要因は何か、三谷校長に伺った。



朝日ふりそそぐ桜並木を朝学に急ぐ生徒たち

**始業一時間前の朝学習から始まる**  
どんな指導がなされているのか伺うと、学校では早朝学習という特別授業が毎朝始業一時間前に全

「右肩上がりの進路結果は先生方の熱意とそれに応える素直な生徒の努力の賜ですよ」と三谷校長。今年の国公立大現役合格者数86は、県内男子校では前橋、高崎、太田について四番目で、桐生、渋川、沼田、富岡、伊勢崎を超えたという。また去年は、東大理1に久々の現役合格、早稲田3、慶応3、立教2、明治8、法政1と所謂東京六大学全てに多くの合格者をだした。このような館高の躍進ぶりには目を見張るものがある。

**過去3年間の現役合格者数  
(平成14-15-16年)**

北海道大	2
東北大	5
山形大	7
岩手大	15
宮城大	2
茨城大	10
栃木大	6
群馬大	11
新潟大	1
富山大	1
石川大	1
福井大	1
山梨大	1
長野大	1
岐阜大	1
愛知大	1
京大	1
神奈川大	1
東海大	1
近畿大	1
和歌山大	1
鳥取大	1
徳島大	1
高松大	1
香川大	1
愛媛大	1
高知大	1
大分大	1
熊本大	1
鹿児島大	1
沖縄大	1
北九州大	1
九州大	1
大津大	2
滋賀大	2
福井大	10
山梨大	3
長野大	3
岐阜大	3
愛知大	15
京大	4
神奈川大	19
東海大	14
近畿大	32
和歌山大	4
鳥取大	5
徳島大	39
高松大	43
香川大	29
愛媛大	17
高知大	24
大分大	46
熊本大	18
鹿児島大	39
沖縄大	19
北九州大	41
九州大	95
大津大	21
滋賀大	23
福井大	24
山梨大	8
長野大	3
岐阜大	61
愛知大	7
京大	5
神奈川大	16
東海大	13
近畿大	7
和歌山大	13
鳥取大	32
徳島大	23
高松大	26
香川大	48
愛媛大	24
高知大	44
大分大	28
熊本大	38
鹿児島大	28
沖縄大	13

**館高の評価が急上昇**  
近年地元中学校からは館高はきめ細かな指導で生徒を十分に伸ば

「小論文講演会」等を通して社会に眼を開かせ、生徒一人一人が自分の将来に目標をもって今を学ぶよう指導しているとのことである。その他、自ら学ぶ意欲を高め、学習意欲を確保させる指導などを授業を中心にすえて徹底的に指導して、その成果として現在の躍進があるようである。

「右肩上がりの進路結果は先生方の熱意とそれに応える素直な生徒の努力の賜ですよ」と三谷校長。今年の国公立大現役合格者数86は、県内男子校では前橋、高崎、太田について四番目で、桐生、渋川、沼田、富岡、伊勢崎を超えたという。また去年は、東大理1に久々の現役合格、早稲田3、慶応3、立教2、明治8、法政1と所謂東京六大学全てに多くの合格者をだした。このような館高の躍進ぶりには目を見張るものがある。

取材を終え、高校時代に通い慣れた桜並木の正門を気持ちよくあとにした。

三谷校長の「本校の先生方は本当によく指導してくれているんですよ」との言葉のとおり、先生方の献身的な指導が館高の躍進を作っているのだとつくづく頭が下が



朝学に真剣に取り組む生徒たち

して、高く評価されている。そして、高校入試も志願者が増え、今年の一般入試倍率は



### 次世代に引き継ぐために よりよい活動を

同窓生皆様には、それぞれの分野でお元気に活躍のことと存じます。

私達の母校である館林高校も歴史と伝統を大切にしながら学業とスポーツに学校全体で取り組み、すばらしい実績を年と共に積み重ねていることに対し、卒業生として誇りであります。

これからも益々地域社会から信頼と期待される高校になつて欲しいと思います。

最近の日本経済や社会情勢の中で特にこれからの日本にとって大事なことは少子化問



同窓会長 岩瀬秀市

題だろうと私は思います。特に最近話題になった出生率一・二九と言う数字です。これから子供を生まなかつたら益々不安になるのではないかと経済や年金などの個人負担の話ばかり

りしているようですが、日本の少子化傾向が将来とも進めば何よりもまず自分の国を守るために活力がなくなると思うことを国の指導者も国民も本気で考えるべきだと思います。

### あいさつ

#### 厳しく鍛える

同窓会の皆様には、日頃から母校館林高校の教育振興に格別のご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

今春には四百名を超える会員を擁する邑楽町支部が結成されましたが、このような同窓会の発展と同窓会員各位の活躍は、在校生や教職員にとっても大きな励みになっております。また、「O日による職業別進路講演会」には、今年も各界で活躍中の十三名の同窓生に有意義な講演をいただきました。

同窓会の充実・発展とい



校長 三谷 昇

う追い風を受け、母校館林高校も、今、充実・飛躍の途上にあります。今春の卒業生は国立大学に八十六名が合格しました。これは過去最高

生徒には、厳しい試験に耐えて日々努力せよ、と文武両道をめざした努力を迫っています。レスリング部が三年ぶりの団体優勝を果たしてインターハイに出場するなど部活動も頑張っています。また、社会に活躍できる人づくりをめざして、礼儀や挨拶などについても厳しく指導しています。本校教職員は情熱を傾けて生徒の真摯な学校生活を献身的にサポートしており、保護者からも厚い信頼を得ています。

母校の一層の前進と飛躍のために、今後とも同窓会々員各位のご支援とご協力をお願い申し上げます。会報発行に寄せてのご挨拶といたします。

昨年十一月十三日、開校八十二年記念講演会が催された。今回の講演者小器眞望氏は、昭和四十年に本校を卒業し、現在版画家として活躍中である。氏は、高校在学中から現在に至るまでの半生を、様々な教訓を交えながら熱く語ってくれた。

### O B が学校へ

#### 画家

#### 小器眞望氏が講演

「きちんと設計されたものは美しい。」とは、大学の航空工学の教授が、紙飛行機を飛ばしながら氏に伝えた言葉だそうだ。「機能的にも優れた製品は、型も実に美しくできている。」という意味であろう。その言葉に深く感銘を受け入社した本田技研では、エンジン開発に取り組み、若くして海外の会社との交渉役を務めるなど多忙な日々を送った。

### 平成十六年

#### 同窓会本部役員

名譽会長 藤澤 純孝 (十一年卒)

幹事 谷津 義男 (二十八年卒)

副幹事 矢口 昇 (二十五年卒)

副幹事 安室岡一雄 (四十一年卒)

副幹事 松本 耕司 (三十八年卒)

顧問 渡辺利三郎 (三年卒)

顧問 三谷 昇 (母校校長)

会長 岩瀬 秀市 (二十五年卒)

副会長 橋田 基利 (十七年卒)

副会長 小嶋 泰男 (二十六年卒)

副会長 宇治川福司 (二十七年卒)

副会長 山川 博 (二十九年卒)

副会長 岩崎 健典 (三十四年卒)

副会長 河本 榮一 (三十六年卒)

副会長 山崎 浩志 (三十八年卒)

副会長 山崎 稔 (三十二年卒)

副会長 前山 秀樹 (三十七年卒)

副会長 大隅 光雄 (三十八年卒)

副会長 関口 久 (二十七年卒)

副会長 鈴木 実 (母校教員四十一年卒)

副会長 高木貞一郎 (二十七年卒)

副会長 橋本 満 (四十一年卒)

副会長 尾形 哲男 (二十年卒)

支部長 鈴木 敏男 (二十三年卒)

支部長 板倉 野次雄 (二十九年卒)

支部長 明和 吉水五三三 (二十二年卒)

支部長 千代田 武井 章段 (三十年卒)

支部長 邑楽町 青山 敏雄 (二十年卒)

支部長 館衆会 河内 初光 (三十年卒)

支部長 太田新田 小林 廣吉 (三十七年卒)



同窓会活動

東京の「板倉会」

先輩後輩が励まし合い20年

板倉町出身で、館林旧制中学や高校で学んだ者の在京者が集って「板倉会」を発足させてから、かれこれ20年になる。

現会員は、卒業年次でみると、昭和19年から42年まで、登録者は72名です。

会員は、会社員をはじめ、官界、言論会、法曹、企業経営者、医師、教育者等に身を置く者、置いた者と多士済々の集いです。

会合は、年一回、定例会(2月第一金曜日、来年から3月第4金曜日)と親睦ゴルフコンペを開催して、相互に近況報告や貴重な情報交換をして、楽しいひとときを過ごすのが常である。

定例会では、老いてますます元気な長老グループは、ほぼ第一線を選び、その開放感が解放か、「ターヘルムジークを聴きながらの食事は格別だとか、俳句ならめ連句を楽しんでいるとか、かねてかかわった建築物を訪問している自分史をもの」などと相変わらず意気軒昂で頼もしい。

現役グループは、明白も見えぬ大きな社会変動の渦中にある、それぞれ板倉立派で、悪戦苦闘を強いられることも多いようだ。会員の一人に、大都市銀行をバックに業績を伸ばし、グループ企業を取りまとめ、高名な大学教授等を招き勉強会を主催したり、目覚ましい活躍をしていた者がいたが、バブル経済崩壊後、会合を

2・3年欠席した。かつて、成功の秘密を「自分の能力は知れたものだ。だから小引出しをたくさん持って、知恵を借りる」とにしている」と語った彼のこと、どんな難局をも乗り越えるだろうと念じていたところ、今年元氣な姿を見せた。起死回生の一手で何とか逆転を乗り切った。「小引出し」の効用だ。助言や示唆、激励が、こんなにありがたいとは思わなかったと、こやかに話す。

興味が低迷し、リストラや再編が進行して、企業間競争も激化する中、ここにきてやっと明るい兆しが見えたというものの、取り巻く環境は、従来にまして厳しく戦略的発想や情報の選択と活用が重視され、企業戦士も安閑としていられない。とかく人間関係が希薄になり、利害最優先の昨今の風潮は寂しい。その中にある、同窓会メンバーが集う「板倉会」は、利害を超えた存在で、時に、またとない物心両面の支援や明白の英気を授ける貴重な場となる。また、新たな情報を介して展望も得られる。今後も大事にしたい。

さて、このような集いが永続するには、幹事の根気よい努力と若い世代の加入が欠かせない。幸い当会は、幹事に陸軍高田氏という得がたい奉仕者がいてもらっているが、若い世代の参加が急がれる。これを機会に、参加者が増えることを心から願う次第です。

因みに、連絡先は、陸軍法律事務所 03-34478-0877です。

(27年卒 岡本政夫記)

校歌をうたい 青春をとりもどす

二九回は昭和二十九年に卒業した者達の会である。入学時には五五名の規模で、その上、戦後の混乱期で自給自足のタイヤが空気の入らないノーパンクで通学した時代だった。

卒業以来全体の会合はしばらく続かなかったが、五〇歳を前にして全体の会合を持ってもらいたいとの声が出てきて、昭和六〇年に当時の分福ヘルセンターで第一回の会合を持った。幹事地区は最初から持回りとした。板倉、明和・千代田、大泉、栗原、館林の順となり、現在二回りに入った。

前々回から、五年毎では開きすぎ、お互いに先が短くなったのだから四年に一度に開くことになった。それでも持ちきれないとの声があり、短期するかどうかが検討中である。

直近の会は昨年九月、明和・千代田地区が幹事で同級生のいるレストラン司で開かれた。最初は二桁の出席をみた泉(級・学科担任)の数が、体調その他の都合で減り、出席者が飯島徳安貝、團澤義半田先生の四名になられたのは寂しい限りである。けれども、六〇名からの精気が集い、往時を呼び、語り合



(29年卒 飯野次雄記)

行事多岐 四十有余年 近年館女OBも迎えて

さてさて、同窓会開会の記の寄稿を依頼されたのであるが、はたして同窓会とかクラス会と、言えるものかどうかと疑問しつつ、紹介致します。

といますのは、私達は、同級生の会、館乃會、なるものを結成しておりまして、今年の新年総会より、教職OBの級友二名と、ある優良企業の現役社長の同級生が新たに加わり、現有三十九名の会です。その歴史を精確に、権田十四雄会長の下、中島、松島副会長を置き、安楽同窓会特別会員とし不肖私も事務局として、一糸乱れずに毎年、新年会を始め、旅行会、ゴルフコンペ、誕生パーティ、納涼祭等々の事業を行っております。

今年も、六月二十七、二十八の両日に、「船の科学館」や「航空博物館」の見学やらを經由して、香取神宮の参拝と、潮来の十二橋通りの船遊びを堪能して参りました。

それと、厚岡不思議というか、特筆しなければならぬのは、毎年恒例の旅行は、入梅の真只中に出掛けるのですが、何十年もの間雨に降られた事のない、晴れ男の集団で有るといふことです。



(29年卒 飯野次雄記)

飯島徳治先生を偲ぶ会

添えさせて貰っており、タイムスリップした、実に楽しい在校生気分です。しかし、そうしていても、六十代の半ば迄、才を数えた訳ですが、その様な会のパワーというか、オーラを戴いて、まだまだ地どの者が現役で働き、又、区長やら、民生委員、交安協支部長、等々の社会奉仕、ボランティアに積極的に参加して頑張っております。

それと、母校恒例の同窓会には、会としては、一部負担する旨の決議もされて、益々充実し、発展する会に成長したいと思っておりますので、今後共、御指導いただければ幸いです。

終りにあたり、今秋の同窓会には、お逢い出来ませう事を楽しみにして、ペンを書きます。

館高サッカー部OB会(岡野上会長32年卒)は、六月十九日(土)市内つじヶ丘パークインにて、飯島先生の奥様と四人の娘さんを招き、「飯島徳治先生を偲ぶ会」を開催した。OB一人一人が自己紹介、若き日にタイムスリップ、先生との思い出の試合、大会等を語り合った。家族の語りは先生より聞くことになかった内容に熱心に聞き入っていた。



(33年卒 手島和雄記)



### 支部活動

年々活況を呈する支部活動であるが、今年5月新しく邑楽町支部が誕生した。これで邑楽郡内全ての地域に館林同窓会の支部網がはりめぐらされたことになる。支部内先輩後輩の交流はもとより、支部間交流も盛んになるものと期待される。

## 邑楽町支部誕生

会長 青山敏雄



「東筑波の雲湧れて、昇る朝日の奥けく」と、懐かしい母校の旧校歌そして、「名山四方を取りめぐり、ふるさとの野べうるほしき」と、新校歌が閉会挨拶副会長の生伴奏で奏鳴されました。

「東筑波の雲湧れて、昇る朝日の奥けく」と、懐かしい母校の旧校歌そして、「名山四方を取りめぐり、ふるさとの野べうるほしき」と、新校歌が閉会挨拶副会長の生伴奏で奏鳴されました。

「東筑波の雲湧れて、昇る朝日の奥けく」と、懐かしい母校の旧校歌そして、「名山四方を取りめぐり、ふるさとの野べうるほしき」と、新校歌が閉会挨拶副会長の生伴奏で奏鳴されました。

多用のところ、若葉会長さん・三三行学校長さん・郡内各支部長さん・地元石井収入役さん・そして国会議員の谷津先生のご臨席をたまわり、盛会に開催することが出来ました。

### 会員が念願の百名を超す

館泉会会長 河内初光

昨年は、会員を百名にしたいと思っていたが、皆様が誘ってくれたお陰で目標に到達しました。

主な活動は、新年同窓会、会報や名簿の発行、ゴルフ大会、本邦行事への参加等です。さらに各支部の総会には全て参加しております。市や町の合併もありますが、支部間の交流は盛んな事であると思えます。大泉は、これからも、縦横の絆を大切に、皆で元気にやりたいと思っております。よろしく御指導下さい。

東京及び近郊の在住・在勤者の名簿を再発行し、入会も併せて促進し会報を新名簿の全員に配布したので、その後多数の新入会者が増える事が出来た。

### 観覧会 夫人同伴で盛ん

東京同窓会会長 鈴木敏男

上野精養軒で行われた恒例の春の観覧会には夫人同伴での会員の参加があり、日々には疎くわがちな故郷の話に花が咲き、思わぬ旧友との再会で感激し合つてこまもあり、同窓同志の輪を組んでカラオケに興じる等観覧の輪を広げた。

8月27日予定の上野精養軒での納涼会には一般会員はもとより県内他高校同窓生(女子高同窓も含む)も数多く参加の予定である。尚今回は板倉高校OBもオプザーバとして出席予定である。

### 千代田支部活動

支部長 武井章良

千代田支部は昨年より総会並びにゴルフ、グラウンドゴルフを九月に変更しました。その結果、爽やかな大空の下で快適な汗を流して夕刻から観戦を固ることで友情を深めています。故を言えば、若い同窓生の参加がもっと増えることを期待しています。

### 太田新田支部活動

支部長 小林廣吉

太田新田支部は年一回総会の時に懇親会を持って参加者で、仲良く語り合う時間、が最高の行事と認識し決めごととして杯を重ねて楽しんでおります。



春の観覧会の一コマ (多数の会員が夫人同伴で出席)



### 先輩登場

7月下旬にジュネーブで開かれたWTO（世界貿易機関）の国際交渉に出席してきました。各国が国益をかけての駆け引きを展開し、協議の末ようやく「枠組み合意」にこぎつけることが出来ましたが、この交渉最前線で私なりに感じた事を話したいと思います。

第一は国と国の交渉事も最終的には人間の信頼関係が決め手でした。各国代表に知人も多い中今



WTOの国際交渉に出席して  
二十八年卒 谷津眞男氏

同幸運にもEUや米国とホテルが同じで彼らと毎日朝食を共にしながら本音の部分やプライベートな話まですることが出来ました。真にこの信頼関係こそが最終合意に向かつて大きな流れを作り出したものと思えます。

第二は、交渉に勝つには同じ事を相手が取らなければならないという事を、今国内農業保護を語り始めたのもおぼろげに「ミスター谷津のしつこさ」にはギブアップだ」と各国代表に言われしめましたがその粘りの根拠はあの松林で先輩諸氏の温情あるご指導により地味な「館高魂」にほかなりません。結びに母校の限りない躍進を願っております。

人生の友を得た高校時代  
三十七年卒 奥山健二氏

館林を離れて早いもので42年になり、記憶は川や沼での釣り、竹ハツトの野球、館高近くの松林と冬の校庭の砂塵、教室の寒さ等、映画の情景の様子が浮びます。昭和37年3年A組は級友の仲の良さで一生懸命勉強した仲間が沢山いました。60年の人生の中で一番密度の濃い毎日だったように思えます。作家柳の「命」に出てくる、人生の最大危機に何が有っても直ちに駆けつけて力になる



人生の友を得た高校時代  
三十七年卒 奥山健二氏

「五人」の仲間、も高校時代に育まれたと言っても過言ではありません。当時の私達の世代は映画の世界から自分の将来の夢を見られる浸透時代でした。戦後の復興期と云う経済発展の最中で、進学や生活の向上等夢を実現できる可能性に満ちており、級友達はそれを可能にしてみました。私はボストンでの学生生活を満喫し、欧米での貴重な建築実務を経験してきました。それらの国で小説や映画の背景となる建築や都市や自然環境を自分の目で確認できたのも高校時代に描いた夢の実現の一つです。

備のために応援に来てくれた。午前中が勉強で、昼から三時まで自由時間でその後は勉強と云う強行軍であり、自由時間は寝る者や読書者、旅館の前の川で水遊びする者等があり、私も泳いだことが志馬館の様に浮んでくる。井部部の皆さんには、私が素人で何にも判らずに、故長倉君から頼まれて引受けて迷惑をかけたかと思えます。講堂で発声練習、校内井部大会、全国決勝井部大会等、数多くの思い出が浮んで来ます。

私の若き教員時代の一言を刻んでくれています。井部会（井部部0日会）の副会長、谷津氏はじめとして、会員の皆さんには、大変御世話になり感謝します。

西田先生は昭和24年より27年まで数学の教師をいたした。いたって元氣活潑で、気風も凛々とした先生が印象に残る先生だった。彼が在任中に無礼な態度をとったこと。

●今年のゴルフ ●  
「同窓会ゴルフコンペ」開催される

第5回ゴルフコンペは絶好のゴルフ日和に恵まれた5月12日、板倉ゴルフ場に67名の参加者を得て開催された。先輩後輩が和気藹藹の中にもスコアには厳しくラウンドした。なおパティには今年も岩瀬同窓会長、三谷校長もかけつけ皆と喜びを分かち合い団樂の一時をおくられていた。

成績は次の通り。

- 優勝 小久保 清（千代田）
  - 準優勝 岡村 忠一（館林）
  - 三位 河内 初光（大泉）
  - 四位 大川 秀夫
  - 五位 黒須 義一（大泉）
  - ベスグロ 七十六
- 河内 初光（大泉）



プレイ後の表彰式&パーティ

●栗年の「ゴルフコンペ」に参加を ●  
期日 十七年五月十一日（水）  
会場 板倉ゴルフ場  
どうぞお誘い合わせのうえ地区役員または支部長までお申込みください。

### 恩師登場

教師の思いは永遠なり  
勅使河原薫之助先生



私は明治44年生れです。今年93才になりました。現在妻が娘夫婦の近くの介護施設に入っており私は一人暮らしをしておりますがなるべく人に迷惑を掛けない様に頑張っております。

私が当時の館林中学に赴任したのは昭和18年でした。同期には元気の良い金子善平、飯島徳治先生がおられました。当時の学校の雰囲気としては柔道などスポーツ

は盛んでしたが船学の方は今二歩でお世辞にも高いとは言えず、理科担任の私としては何とかレベルを上げたいと思っておりました。化学のクラブ活動にも力が入りました。そんな折、うかつにも化学の実験室で爆発事故を起してしまいました。それ以来爆発事故を起した名物教師として変な形で全国的に知られる様になりました。30年間お世話になった学校への愛着は今尚深いものがあります。何と云っても国の将来は科学技術の発展にあります。若者がどんどんこの分野に進んでほしいものです。

「館高健児」O日諸君の「限りない躍進を期待する」勅使河原先生は昭和18年館林中学時代に赴任し昭和40年まで化学の先生として勤められた。物事に情熱が注ぎ大らかに指導する名物教師だった。現在も当時の生徒にて友人のようなきま話をしておられ、いたって元氣でした。



良い生徒にめぐまれた  
内田幸晴先生

私は昭和二十六年より館高に勤務し東高校、専門学校と五十三年度の教員生活を送ってきた。三十年代の館高は大学進学が盛んな評判があり、始業前の早朝の課外授業をやることになり、自宅と館林駅に二台の自転車を用意して通勤した。生徒は目的意識があり出席は極めて良好であり効果は充分あったと思う。又父兄から強い要望があり四方追来で合格することになった。半日校のために、父兄の方も食事の準備



# 館高Now

## 「大成祭」盛大に催される テーマは「青春の男祭り」



去る6月18・19日、第29回大成祭が千名を超える来場者を迎える盛大に行われた。「切り開け明日への道(ロード)」というスローガンを掲げ、開拓者精神を全面に打ち出して、様々な催し物を展開した。

「文武両道」の合い言葉のもと、勉強に運動に日々精進している後輩達は、限られた時間の中で共に力を合わせ、何とか開催にこぎ着けた。ある者は工具を片手に裏方に励み、立派に会場を作成し、ある者は調理材料を刻むことに汗を流し、褒め言葉をもらえらるほどの料理を提供し、ある者は上手な掛け合い漫才や女装踊りで観客の笑いを誘った。

これらの努力の過程で未知の可能性を秘めた自分自身に驚き・実感した者も多かったであろう。彼らの活躍に賞賛を送りたい。

## OBたちが母校で講師

生徒の進路意識の高揚のための行事「OBによる職業別進路講演会」が7月17日にOB13名を迎えて行われた。

各界で活躍しているOBたちが自らの職業のこと、仕事の内容から業界の将来性まで生徒達に親身になって切々と語りかけていた。生徒たちも先輩の話に真剣に耳を傾け自分の将来の職業観を培ったものと思われる。今年の講師は次の各氏である。



講師一覧

分野	名前	卒年	勤務先
金融	近藤 健次	43	東和ビジネス株式会社
公務員	長沢 富雄	42	古河市議会事務局
税理士	金子 政重	55	金子会計事務所
弁護士	森田 昌司	57	森田法律事務所
福祉	根岸 昭人	53	館林市社会福祉協議会
旅行業	本澤 博幸	54	東武ラベル株式会社
ホテル業	河村 博	51	ホテルグランドホテル
技術者・自動車	渡藤 祐司	56	富士重工株式会社
技術者・半導体、環境技術	坂村 正二	53	三洋電機株式会社
技術者・コンピュータ	根本 敏光	55	株式会社高モシステムズ
医療・医師	金子安比古	40	埼玉県立がんセンター
医療・臨床検査技師	杉田 光華	54	館林厚生病院
建築士	神田 静一	41	神田材木店

## ●定時制だより

第29回大成祭が6月18・19日の二日間開催され、定時制も参加した。企画内容は、歴史文芸部による「館林の地名・方言・文化財の展示」、3年生による「将来の自分の家の模型展示」、2年生による「定時制55年の歴史・一年間の行事紹介・ある生徒の一日の紹介」、生徒会による「駄菓子・ラムネの販売」だった。すべての企画の中でもかなり学究的な内容であり、見学者の評判も上々だった。また、駄菓子屋もかなりの人気で、ラムネは早々と売り切れてしまうほどだった。「文化」の香りが色濃く出ていた企画で大成功であった。

次に部活動では、バスケットボール、陸上、バドミントン、卓球の全国大会県予選が行われた。円盤投げ砲丸投げで荒井由香里さん、走り幅跳びで尾島郁江さん、400Mハードル・400Mで石塚教雄君、800Mで中村淳也君、バドミントンで齋藤貴仁君が全国大会に出場できることになった。8月の全国大会での活躍を期待する。



## 進路状況

この春も館高の進路実績は大躍進を遂げた。

①今年度は国立公立大学の現役合格者が八十六人を数え、過去最高、在校生のほぼ三人に一人が国立公立大学に進学した。

②現役大学進学達成率は八十六%でここ数年高水準で推移している。

③卒業生の進路は大学進学者が二〇九人(77%)、専門学校進学者が二十六人(9%)、就職一人(0.4%)、浪人三十四人(12%)だった。

④大学の館高に対する評価が上がり、早大、法政大、明治大、中央大、青学大等を始めとする全国七十大学からの指定校推薦を受けようになった。今年度は新たに同志社大学からの指定も決定している。

こうした先輩の後ろ姿を見て在校生もよく努力している。また、毎年、本校のOBの協力により職業別進路講演会が開かれ、生徒達は豊かな職業観、目的意識を身に付けて、学業への主体性を高めている。

なお、卒業生二七〇名の進路決定先は、国立立大七四、私立大一三五、専修二六、就職一、浪人三四である。

## ■十六年度合格状況(現役のみ)

- 【国立大学】(86名)
- 東北大2、秋田大1、山形大3、福島大1、茨城大3、筑波大1、宇都宮大7、群馬大29、埼玉大6、千葉大1、東京医歯大1、東京農工大1、横浜国立大1、新潟大3、徳島大4、静岡大1、富山大1、徳島大1、山口大2、琉球大1、高崎経済大4、前橋工科大2、秋田県立大3、都立科学技術大1、他6

## 【私立大学】(398名)

- 青山学院大1、工学院大9、国士館大8、駒澤大2、芝浦工大16、専修大14、創価大4、大東文化大16、拓殖大9、玉川大2、中央大1、帝京大6、東海大22、東京経済大7、東京電機大12、東京理科大6、東洋大16、二松学舎大2、日本大38、法政大2、武蔵工大7、明治大10、明治学院大1、立教大1、立正大15、早稲田大3、東北薬科大2、足利工大2、関東学院大2、東京福祉大2、高崎健康福祉大3、埼玉工大4、城西大10、東京国際大12、獨協大14、文教大11、千葉工大11、千葉商大2、神奈川大8、神奈川工大20、関東学院大2、立命館大1、他62

## ■十六年度合格状況(浪人のみ)

- 北海道大1、群馬大1、埼玉大2、新潟大2、青山学院大2、中央大1、東京理科大1、法政大1、立教大1、芝浦工大1、武蔵工大2、日本大4、東洋大1、専修大1、獨協大1、他17



### 部活動状況

部活動の意義は、心身の健康はもちろん、学業では味わうことのできない感動や現在では希薄になりつつある人間関係を築くために重要な役割を持つ。本校では、学業と部活動の両立に悩む生徒が多い中、個々の目標達成に向けて頑張っていると思う。しかし、未知の力を持つ生徒たちの限界点を向上させ、強くたくましい心身の発達を促すようより一層の精進を期待したい。



は、八度目の関東大会出場となる。

#### 〔水泳部〕

今シーズンも、6月26日、27日に行われた関東大会の県予選で総合4位に入賞。また、400mリレー・800mリレー・メドレーリレー、個人では1年生坂田芳泰が入賞し、本県で行われる関東大会に出場することが決定しました。水泳はこれからが本番、県総体・新人戦と実力を発揮しがんばっていきたいと思います。応援よろしくお願ひします。

#### 〔新聞部〕

平成七年の復刊から今年で10年目になりました。現在までの発行回数は230。昨年は、年間42回発行(速報版40回、タブロイド版2回)し、高校生新聞コンクールでは市町村合併の記事が評価され、県議会議員賞(第二席)を受賞しました。今年の全国高総文祭にも県を代表して出場します。

#### 〔井筒部〕

平成十五年九月六日(土)、館林三の丸芸術ホールにて本校主催の第五十二回全国高等学校決勝井筒大会が開催されました。北は北海道から南は岡山まで二十二名の井士が集い、成功のうちに終了できました。今年は、九月四日(土)に同じ芸術ホールで行われます。御指導御協力の際お願ひ申し上げます。

## 館高Now

#### 〔ボート部〕

昨年はインターハイ、国体と入賞する選手も出てますが、昨の年ではあったのですが、

#### 〔レスリング部〕

現在のレスリング部は、三年生一名、二年生四名、一年生四名計九名と相変わらず、部員数が少なく、部員確保が一番の課題である。しかし、選手一人一人が各自の目標に向かって精進しており、その成果が三年ぶりにインターハイ団体出場という形であらわれた。今度も心技体の向上に努めたい。

#### 〔山岳部〕

今年の県総体では、過去最高の三位に入賞することができた。いよいよ来年は優勝を狙い、インターハイ出場権を得ようと部員一同意気軒昂としている。また、3年生の浦野・丸藤の二名は、国体の強化選手として8月の関東ブロック予選通過を目指している。秋に

### ●清瀬君 凱旋公演(予定)

#### 11月9日 於館林文化会館

前号にも紹介した三年生の清瀬千晴君が、約1年間のロシア国立モスクワ舞踊学校(ポリシヨイアカデミー)留学を終え、帰国した。彼の通ったポリシヨイアカデミーでは、小中高の一貫教育を行い、多くの有名なダンサーを輩出している。バレエ実技はもとより多種のダンス演技、劇場やバレエの歴史、音楽史、そして地理学や解剖学までも履修できるそうだ。

彼の学校での最大の思い出は、「世界中から選ばれたプロのダンサーに混じってポリシヨイ劇場の舞台に立てたこと。」だそうです。その舞台で、彼は「ゼンツァーの花祭り」、「太鼓の踊り」という劇に出演し、みごとソリスト(劇の一幕における演舞グループのリーダー)として活躍したのだ。

帰国後は、七月に催されたポリシヨイアカデミー関西公演(六日間)で級友達と共に同様の演技を行い、八月十日は相模原市、十二日は東京五反田で日本財団主催の公演に出演するなど多忙な日々を送っていた。

そんな彼の将来の夢は、高校卒業後フランスに留学し、パリのブリンシイバル(主役ダンサー)として舞台に立つことだ。



### 高校総体などの結果報告

#### 〔バレーボール部〕

一回戦 館林2-0吉井  
二回戦 館林0-2太田

#### 〔バドミントン部〕

団体7位  
一回戦 館林2-1沼田  
三回戦 館林2-1高崎  
四回戦 館林0-2桐生

#### 〔バスケット部〕

一回戦 館林61-69沼田

#### 〔空手道部〕

相手一回戦 館林2-3高崎  
形 予選敗退

#### 〔剣道部〕

一回戦 館林1-3太田

#### 〔卓球部〕

二回戦 館林2-3勢多廣  
〔テニス部〕

一回戦 館林1-2高崎東

#### 〔サッカー〕

ベスト8  
4回戦 館林4-1太田  
準々決勝 館林0-1前橋育英

#### 〔ソフトテニス部〕

一回戦 館林3-0桐生工  
二回戦 館林0-2前橋

#### 〔ソフトボール部〕

ベスト8  
二回戦 館林0-22前橋南

#### 〔軟式野球部〕

一回戦 館林1-4龍大二

#### 〔硬式野球部〕

夏期大会  
二回戦 館林5-9桐生第一



